

三遠ネオフェニックスと医療法人信愛会 「ぜひ、活用して」 国府高バスケット部へ用具贈る



大石明宣理事長ら出席者と国府高バスケット部員たち（国府高校で）

ら同プロジェクトの実施先は国府高校と決めていた」と経緯を話し、「ぜひ、活用していただきたい」と話した。

女子キャプテンの坂田麗菜さん（16）は、「うれしいです。試合だけでなく練習でも活用し、がんばりたい」と述べ、男子キャプテンの灰田脩平さん（17）は、「貴重なものをありがとうございます。意欲が高まりました」と語った。

式後、SANIE Nアンバサダーの鹿毛誠一郎さんと岡田慎吾さん参加によるバスケット交流会が開かれ、男女部員41人が参加。熱心に指導を受けていた。

（吉富恵子）

三遠ネオフェニックスと2023-24シーズンオフイシャルパートナーの医療法人信愛会（豊川市）は8日、フェニックスSDGs推進プロジェクト「PHOENIX meet」の一環として県立国府高校バス

ケットボール部へバスケットボール用品を寄贈した。寄贈式は同校の体育館で行われ、信愛会の大石明宣理事長、大石宗弘専務理事、フェニックスの水野晃社長から、同部の男子キャプテン

と女子キャプテンに、デジタルマ、ケブルリール、フェニックス全選手のサイン入りバスケットボールが手渡された。大石明宣理事長はあいさつで、「長年、同校の学校医として携わってきたことか

